



忘れてはならない 食餌性ボツリヌス症

令和6年8月7日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第31週分・7月29日～8月4日)

《インフォメーション》

●食餌性ボツリヌス症

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌などが産生するボツリヌス神経毒素によって起こる全身性の神経中毒疾患です。ボツリヌス症は病態により、主に食餌性ボツリヌス症、腸管ボツリヌス症（乳児ボツリヌス症を含む）、創傷ボツリヌス症に分けられます。

食餌性ボツリヌス症は、食品に混入したボツリヌス菌芽胞が食品内で発芽増殖し、産生されたボツリヌス毒素を食品とともに摂取することによって引き起こされます。原因食品を摂取してから通常12時間から36時間で発症し、主な症状は眼瞼下垂、複視、嚥下障害、構音障害などの脳神経障害があります。病状は数時間から数日にわたり進行し、呼吸機能障害により人工呼吸器管理を要することもあります。食餌性ボツリヌス症が強く疑われた場合は、細菌学的検査結果が出る前に、乾燥ボツリヌスウマ抗毒素による治療が行われます。

食餌性ボツリヌス症事例は、これまでに全国でおおむね年間数例程度発生しています（表参照）。原因食品には、カラシレンコンやあずきぱっとうなどの真空パック詰め食品や缶詰・瓶詰、自家製のいづし等の発酵食品が報告されています。一方、原因食品が明らかにならなかった事例も多くあります。2024年8月7日現在、富山県において食餌性ボツリヌス症が4件報告されました（うち3件は第32週診断分）。原因食品については調査中です。

食餌性ボツリヌス症が疑われる場合は、原因食品の早期回収、注意喚起が新たな患者発生の阻止に重要です。また、食品の保存方法は製品表示に従い、真空パックや缶詰が膨張している場合や、食品に異臭がする場合は食べないようにしましょう。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2件（①②ともに90歳代、男性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（20歳代、男性、O157、VT1VT2）
- 四類感染症 ボツリヌス症 1件（10歳代、女性）
- レジオネラ症 1件（20歳代、男性、肺炎型）

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	COVID-19	11.94（↑）	11.77
2位	手足口病	8.90（↓）	14.83
3位	R S ウイルス感染症	3.17（↑）	2.97
4位	感染性胃腸炎	2.83（↓）	2.93
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.34（↑）	2.17
6位	ヘルパンギーナ	0.76（↓）	1.24

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>
※第9週分以降、URLが変わりました



全国における食餌性ボツリヌス症事例

発生年	患者数	原因食品	発生年	患者数	原因食品
1984	36	カラシレンコン（真空パック）	1995	6	鮭のいづし
1984	1	鯛のいづし	1996	1	不明
1984	1	不明	1997	3	ハヤのいづし
1984	6	ハタハタ・鮭のいづし	1997	1	イワナのいづし
1985	1	鯛のいづし	1998	18	グリーンオリーブ（缶詰）
1988	1	不明	1999	1	不明
1988	3	自家製鮭の調味乾燥品	1999	1	ハヤシライスの具（真空パック）
1989	1	ニシンのいづし	1999	1	不明
1989	3	ハスのいづし	2007	1	アユのいづし
1989	2	カレイのいづし	2012	2	あずきぱっとう（真空パック）
1991	1	ウグイのいづし	2016	1	不明
1991	1	不明	2017	1	不明
1991	1	アユのいづし	2019	1	不明
1993	4	里芋（缶詰）	2021	1	不明（真空パック食品）
1993	1	不明	2021	3	不明（白米もしくは市販の惣菜）
1995	1	コハダのいづし	2022	1	アユのいづし
1995	3	ウグイのいづし	2024	4	調査中

厚生労働省「食中毒統計」改変

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第31週 令和6年7月29日～令和6年8月4日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1		1		2	8	3	23	6	32	72
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く		1		1		2	5	3	12	4	19	43
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1		1	3	3	4	11
四類感染症	E型肝炎											1	1
	ポツリヌス症					1	1					1	1
	レジオネラ症					1	1	2	1	8	1	16	28
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							1		3		8	12
	急性脳炎									1		1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3	1	9	14
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7
	水痘（入院例）							1	1				2
	梅毒							1		5	5	9	20
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳											1	1
インフルエンザノ COVID-19定点 (47定点)	インフルエンザ	1			1	1	3	1,077	1,029	4,041	1,564	5,069	12,780
	COVID-19	0.17			0.14	0.06	0.06						
小児科定点 (29定点)		125	49	158	112	117	561	1,808	967	2,995	1,688	2,556	10,014
		20.83	9.80	12.15	16.00	7.31	11.94						
	RSウイルス感染症	4		43		45	92	46	60	508	35	372	1,021
		1.00		5.38		4.50	3.17						
	咽頭結膜熱	5	2	3	2	8	20	100	255	661	36	680	1,732
		1.25	0.67	0.38	0.50	0.80	0.69						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		47	3	17	68	176	166	2,587	308	1,229	4,466
		0.25		5.88	0.75	1.70	2.34						
	感染性胃腸炎	21	4	12	6	39	82	720	628	1,380	660	3,228	6,616
		5.25	1.33	1.50	1.50	3.90	2.83						
	水痘		2	3		1	6	2	13	110	9	61	195
			0.67	0.38		0.10	0.21						
	手足口病	10	8	125	29	86	258	77	266	1,277	334	1,390	3,344
		2.50	2.67	15.63	7.25	8.60	8.90						
	伝染性紅斑							1		8	1	9	19
突発性発しん			2	2	2	6	8	12	91	25	85	221	
			0.25	0.50	0.20	0.21							
ヘルパンギーナ			1	11	10	22	66	17	70	33	162	348	
			0.13	2.75	1.00	0.76							
流行性耳下腺炎							3	1	5	2	7	18	
眼科定点 (7定点)	急性出血性結膜炎										2		2
	流行性角結膜炎			1			1	8	1	30	5	9	53
			0.50			0.14							
基幹定点 (5定点)	無菌性髄膜炎										3		3
	マイコプラズマ肺炎			1			1		2	9	1	2	14
				1.00			0.20						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1	
入院サーベイランス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179
	COVID-19による入院患者	13	4	11	16	32	76	149	126	109	179	442	1,005

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

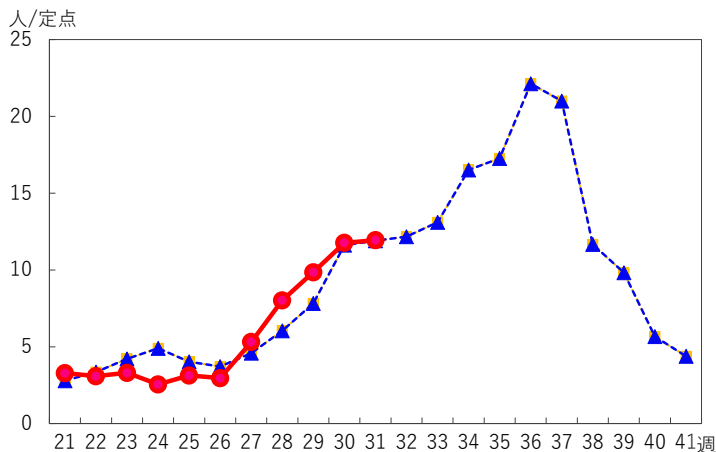
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第31週（7月29日（月）～8月4日（日））

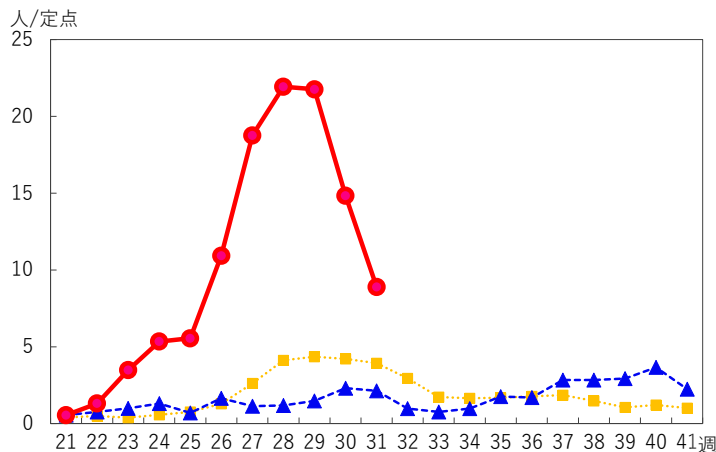
8月7日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

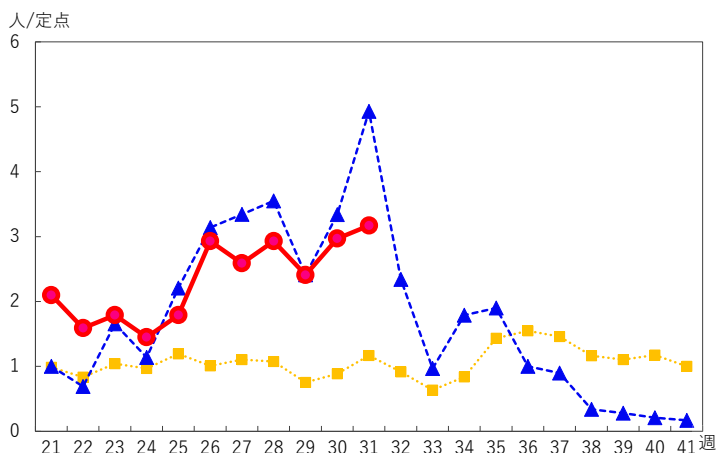
COVID-19



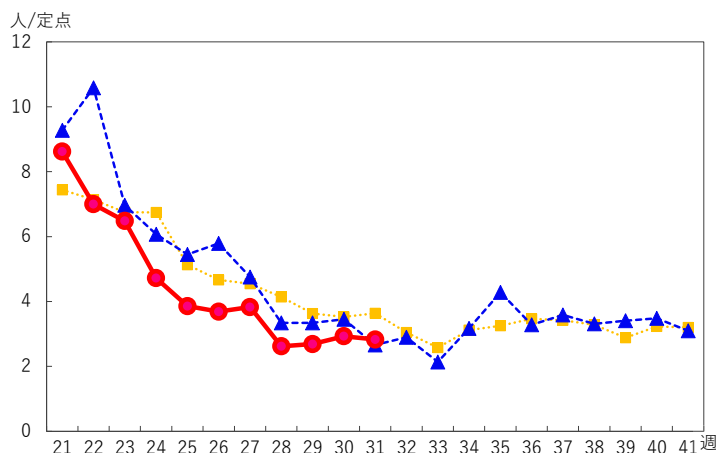
手足口病



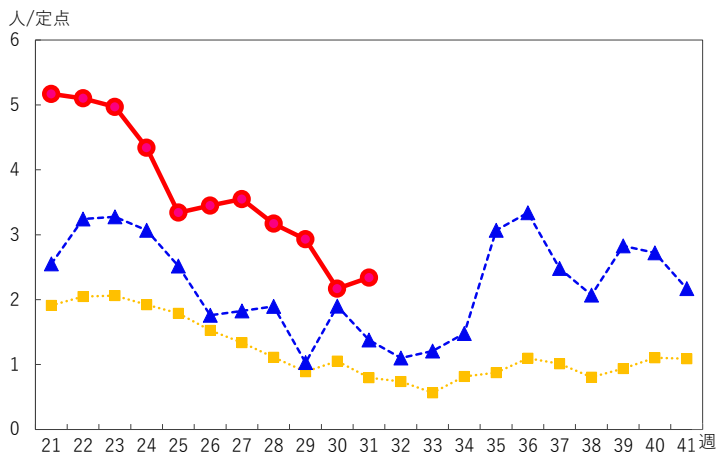
R S ウイルス感染症



感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



ヘルパンギーナ

